

令和6年度

明るい家庭づくり

優秀作品集



この冊子は明るい家庭づくりをテーマとした
作文・壁新聞の優秀作品集です。

豊橋市
豊橋市教育委員会
豊橋市小中学校PTA連絡協議会
豊橋南ロータリークラブ

はじめに

家庭は、子どもたちが明るく健やかに生きていくための基礎となる最も大切な場所です。

豊橋市では、家族みんなが顔をそろえ、ふれあいを深めるために、毎月第三日曜日を「家庭の日」とし、よりよい家庭づくりを呼びかけています。また、この「家庭の日」を広く市民の皆さんに知っていただくため、二月を「家庭の日市民運動」強化月間として、「親と子の 対話を作る よい家庭」をスローガンに、家庭の日市民運動を展開しています。

「明るい家庭づくり作文・壁新聞」の募集は、小中学生とその家族の皆さんに、作品づくりを通して家庭の大切さに気づき、明るい家庭についてさらなる理解と関心を深めてもらうことを目的に、昭和五十八年度から実施しています。

今年度は、市内小中学校から作文517点、壁新聞135点（壁新聞募集は小学生のみ）の応募がありました。子どもたちの家族への関心の高さを、改めて感じています。

それぞれの作品には、家族とのふれあいを通して感じたこと、家庭に起きたできごとから家族の絆について見直したことで、明るい家庭づくりをするために、自分が実行していることなど、それぞれの家庭の様子が生き生きと描かれています。

ここでは、応募作品のうち、作文・壁新聞の入選作品の一部を紹介します。これらの作品を通して、みなさんが「明るい家庭づくり」について、考えるきっかけとなれば幸いです。

令和七年二月

作文の部

■豊橋市長賞

「我が家の家訓」

「祇園火花」

「私の夏休み」

「がんばる」 タッチ

■豊橋市議会議長賞

「家族を思う」 約束事

「健康寿命伸ばし隊」

「早起きして家族でイングリッシュ」

「いきものもかぞく」

■豊橋市教育委員会賞

「お母さんの負担を減らし明るい家庭に」

「手から手へ元気をつなぐあいさつ」

「野球ずきになった家族」

「たまごしゅぎょう」

■豊橋市小中学校PTA連絡協議会長賞

「家庭での役割」

「私は小さなお母さん」

「みんなにここにこ手まきずし」

「あたらしいかぞく」

■豊橋南ロータリークラブ会長賞

「楽しむことの大切さ」

「わたしの役割」

「ぼくのお父さん」

「おうちなつまつり」

| | | |
|----------|--------|----|
| 南陽中学校一年 | 宮内優羽 | 1 |
| 吉田方小学校五年 | 後藤 仁 | 2 |
| 東田小学校三年 | 丸山 桜一 | 3 |
| 吉田方小学校一年 | 伊庭悠惺 | 4 |
| 豊城中学校一年 | 田中丸 奈穂 | 5 |
| 鷹丘小学校五年 | 兼子 碧杜 | 6 |
| 栄小学校三年 | 山本 琢翔 | 7 |
| 東田小学校一年 | 小川 惺蓮 | 8 |
| 南陽中学校一年 | 鈴木 ひなた | 9 |
| 東田小学校五年 | 野沢 青生 | 10 |
| 鷹丘小学校三年 | 土屋 日向子 | 11 |
| 汐田小学校一年 | 古橋 杏南 | 12 |
| 牟呂中学校一年 | 江口 葵 | 12 |
| 栄小学校五年 | 山本 愛莉 | 14 |
| 中野小学校三年 | 大竹 穂実 | 15 |
| 植田小学校一年 | 橋本 理叶 | 16 |
| 羽田中学校一年 | 榊原 華子 | 16 |
| 汐田小学校五年 | 安藤 詩菜 | 17 |
| 磯辺小学校三年 | 説田 伊吹 | 19 |
| 東田小学校一年 | 及部 紋児 | 20 |

壁新聞の部

■豊橋市長賞

「ハビハビ」

「のびのび」

■豊橋市議会議長賞

「だんご3兄弟」

「ドラゴン」

■豊橋市教育委員会賞

「DIY」

「ドキドキ」

■豊橋市小中学校PTA連絡協議会長賞

「コーヒー新聞」

「にかにか」

■豊橋南ロータリークラブ会長賞

「なつやすみ」

「なつぞら」

「なつやすみ」

「なつぞら」

「なつやすみ」

「なつぞら」

「なつやすみ」

「なつぞら」

「なつやすみ」

高根小学校六年

高根小学校四年

東田小学校一年

下条小学校五年

下条小学校二年

東田小学校二年

東田小学校四年

東田小学校一年

東田小学校二年

東田小学校六年

東田小学校四年

下条小学校二年

豊小学校五年

豊小学校一年

吉田詩野

吉田大志

岩原英司

守田一颯

守田 渚

羽田野 奏太

土井 茉莉

土井七緒

西川 柚希

柘植 皓太郎

柘植 仁実

村上 仁花

牧野 悠桜

牧野 悠桜

斗野 綾人

■豊橋南ロータリークラブ賞

作文の部

「家族と私の成長」

「五人で明るい家族」

「家族について」

「家族のきずな」

「お姉ちゃんはダウン症」

「わが家の「にぎやかファーム」」

「おおきなさつまいも」

「おじいちゃんとうまーじゃん」

壁新聞の部

「ことかな」

「スマイル」

「キックオフ」

「えがお」

「えがお」

「えがお」

「えがお」

「えがお」

「えがお」

「えがお」

「えがお」

「えがお」

「えがお」

「えがお」

南陽中学校一年

石巻中学校一年

東田小学校五年

磯辺小学校五年

幸小学校三年

鷹丘小学校三年

下条小学校一年

牛川小学校一年

吉田方小学校六年

吉田方小学校六年

旭小学校六年

向山小学校六年

向山小学校四年

豊南小学校五年

豊南小学校三年

高根小学校五年

高根小学校一年

豊小学校三年

汐田小学校二年

吉田方小学校二年

つつじが丘小学校二年

つつじが丘小学校一年

東田小学校一年

兵藤 さくら

岩瀬 朔也

紀平 葵衣

山本 晟

鈴木 奈湖

志岐 涼華

片山 遥陽

芳賀 日向大

梅木 琴永

梅木 奏実

河合 紗弥

大羽 希拓

大羽 佑弥

柳谷 明直

柳谷 旺駕

土屋 彩羽

土屋 律希

澤野 瑛斗

高坂 琴葉

梅木 勇志

古本 万博

古本 万博

津田 結伍

※豊橋南ロータリークラブ賞は「題名」「学校名」「名前」のみの掲載となります。

作文の部

◎豊橋市長賞

我が家の家訓

南陽中学校一年 宮内 優羽

「よし、家訓を作ろう」

それはとつ然の事でした。僕の父が急に家訓を作りたい、と言ったのです。

僕は、父が提案したこの家訓を聞いた時、家訓という言葉にピンときませんでした。父は家訓を作りたいのでしょうか。何故、家訓なのでしょう。前までの僕達の家訓は、何か気に入らなかつたら、すぐにわがままを言って親を困らせたり、ちよつとした意地悪等から、けんかに発展して泣いていたり、毎日イライラした生活を送っていました。今思えば、とてもくだらない生活だったと思います。相手の気持ちなんか無視して、ひどい言葉をおたがいぶつけあっていました。きつと父は、そんな僕達の生活態度に不満を持っていたのだと思います。

父は、毎朝早くから夜おそくまで、僕達家族のために、一生懸命に仕事をしてくれています。そして、大変優しく、僕が分からない事があった時には、

「よし！やるぞ！」

と言いながら、いつも最後まででいねいに教えてくれます。僕の尊敬している自まんの父です。

そんな父が、僕達家族に、

「家訓を作ろう」

と言いました。すぐに家族みんなでどんな家訓にするかについて意見を出し合いました。まず、一つ目は、父の意見の「笑う門には福来る」です。

これは、言葉の通り、みんな笑おうね、という思いが込められています。

次に、二つ目も、父の意見の「ホスピタリティマインド」です。これも、

言葉の通り、人のために行動できるような人になるうね、という思いが込められています。次に、三つ目も、父の意見の「自己選択・自己決定」です。これも、言葉の通り、自分の事は自分で選んで自分で決めようね、という思いが込められています。最後に、四つ目は、僕の意見の「母が法律」です。これは、母が言った事を頑張りましようね、という思いが込められています。僕はこの家訓で決まった時、僕達家族の人数と一緒で四つだったため、この家の家訓にふさわしいな、と思いました。前までの僕達の生活は、何か気に入らなかつたら、すぐにわがままを言って親を困らせたり、ちよつとした意地悪等から、けんかに発展して泣いていたり、毎日イライラした生活を送っていました。今思えば、とてもくだらない生活だったと思います。相手の気持ちなんか無視して、ひどい言葉をおたがいぶつけあっていました。きつと父は、そんな僕達の生活態度に不満を持っていたのだと思います。

今思えば、中学生になってそんな生活を送っていてよいのだろうかと思えます。イライラしていても、意地悪をせず、自分で心を落ち着かせていれば、他の人に迷わくをかける事は無いだろうし、自分の心の成長にもなると思います。また、けんかしていた時間と自由に過ごす時間を上手に使う事ができれば僕自身の大きな成長につながると思います。父があの時、僕達にこの家訓を決めてくれて本当に良かったと思います。そのおかげで今では毎日笑い合つて生活を送る事ができています。

「人のために行動する」という事は「難しい事」であり「誰かの人生をハッピーにする物」だと僕は思います。自分のとつた小さな行動で、人を笑顔にする事ができると思います。とても小さな事だけど、その小さな事をこつこつと積み重ねていく事で、これからの自分の人生のプラスにな

祇園花火

吉田方小学校五年 後藤 仁

ると思います。お手伝いをする事で、見返りを求めず、喜びや、達成感を得る事のできる人こそ、「難しい事ができる人」だと僕は思います。僕は、その「難しい事ができる人」になりたいです。そのためにも、家族で決めた我が家の家訓を、これからどんなにいそがしくても守っていきたいと思います。

父の誕生日、額縁に入った家訓と共に、家族全員が笑っている似顔絵をプレゼントしました。この似顔絵のように、いつまでも笑い合える家族でありたいと思いました。

まだ明るい時間なのに、東の空にはドンドンという音とけむりが見える。この暑い中、花火を打ち上げる人は朝から準備をしているんだな、すごいな、ありがとう、と思った。

さあ今から何をしようか。がんばっている家族が帰ってきたらびっくりするようなことをしたい、と去年のぎおんの日からずっと思っていた。部屋を整頓して、宿題をして、考えたのは夕ごはんを用意すること。さっそくれいぞうこを開けてみた。玉ねぎ、にんじん、じゃがいも…あつこれならできる!!野外活動で作ったカレーが頭にうかんだ。お米もといでたける!!玉ねぎの皮をむいて切つてにんじんじゃがいも…一人で料理をするのは少し不安だったけれど、野外活動を思い出してがんばった。火をつけてグツグツ…なんとか完成。びっくりするかな、よろこんでくれるかな。そんな事を考えて一人で笑ってしまった。

お昼になって姉が帰ってきた。

「すごいじゃん」

いつもケンカばかりする姉にそう言われてうれしかった。

庭の草むしりをして玄かんのはきそうじもした。少しの休けい、と思つてゴロゴロしていたらいつのまにか眠ってしまった。

「カチャカチャ」

玄かんの戸が開く音がして目が覚めた。

「ただいま」「おかえり!」

母が帰ってきた。母はカレーのにおいと台所をみてびっくりしていた。

「作ってくれたの?すごいねえ、ありがとう」

その言葉がすごくうれしかった。

そんな話をしていると父も帰ってきた。少しずつ外も暗くなってきて、

「ドーン」「ドンドン」

夏休み初日の朝は外からひびく音で起きた。

今日はぎおんの打ち上げ花火の日だ!ぼくはとび上がって起きた。

夏休みに入ったというのもうれしいけれど、この日をぼくはとても楽しみにしているから。

リビングへ行くと父のすがたはない。母がせかせかと家事をしている。二人とも今日も仕事だ。ぼくや姉のお昼ごはんを用意して母もにかけて行った。姉もその後部活をしに学校へ行つて、家にはぼく一人。さみしい、と少し思うことがあるけれど、もうなれっこ。でも今日はちがう。すごく気持ちがおどっている。だって夜はみんなで花火が見れるから。

花火の音も多く、大きくなってきた。打ち上げ花火が始まった。

ぼくの家の庭から東の方向をみると、ちょうどキレイに花火が見える。庭に家族分のイスを並べ、テーブルも用意。いつもはバーベキューだけど、今日はぼくが用意したカレーを食べながら花火をながめた。父も母も姉も、みんな笑顔で、ぼくはなんだか心が温かくなった。自分が考えて一生けん命作ったごはんを家族みんなが喜んで食べてくれることがこんなうれしい事なんだ、と感じた。家族のためにがんばって働いてくれてる父と母に少しでも力になれたような気がした。

大きな黄金の花火に星やニコニコ顔の花火。色とりどりの花火が次々に空に上がった。風がふいてくると火薬のにおいがした。夏が来たなと感じた。

今年の夏は良いスタートをきれた気がした。いつも以上に家族と話もり上がる。毎年これが好きだけど、今年は去年よりさらに楽しく感じた。

人の役に立ってるっていいな、と思うのと一緒に、ぼくもすなおに「ありがとう」を言える人になりたいな、と思った。

来年のぎおんの日には今年よりもっと成長していられるように毎日少しずつ努力しようと思う。



◎豊橋市長賞

私の夏休み

東田小学校三年 丸山 桜一

私のお家はお寺です。だから休みがなくて家族みんなで遊びに行ったり、旅行に行ったりする事が出来ません。特にお父さんは毎年私の夏休みになるといつも大忙しです。それはなぜかと言うと、お寺にはお盆という行事があるからです。いつも八月になると朝早くから夜おそくまで何百枚もおとうぼという木の板にいていねいにお習字したり、声がかれていつもとちがう声になるくらいお経を読んだりで大忙しです。だから私はお父さんに、「お盆って何。」と聞くとお父さんは、「お盆とはね、亡くなったご先祖様が一年に一度お家に帰ってくる大切な行事なんだよ。今さくらちゃんが幸せに生きているのもご先祖様が色々な苦勞をしながら命をつないでくれたから今ここに生きてる事が出来るんだよ。」と教えてくれました。私はその事を聞いてお盆が楽しみになりました。それはなぜかと言うと私が生まれる前に死んでしまった、おじいちゃんとおばあちゃんもお家に帰って来ると思ったからです。私はおじいちゃんとおばあちゃんに会ったことがないので一度会ってみたいと思っていたからです。そんなお盆にはたくさんの方がお寺に来てくれます。

私もお母さんもお姉ちゃんもお兄ちゃんもお寺のお手伝いをします。私とお母さんとお姉ちゃんは受付をして、お兄ちゃん是他にお手伝いをしてくれる人たちとちゆう車場整理です。受付ではお寺に来てくれた人へ渡す物があ、私はそれを渡す係ですが、あせって渡し忘れてしまった時には

お姉ちゃんが、「これ忘れてるよ。」とやさしく教えてくれるおかげで気づけることができ、何とかお手伝いすることが出来ました。お兄ちゃんも他のお手伝いをしてくれる人たちと、車で来たお客さんのために大きな声で「ばっこらーい、ばっこらーい。」と真つ黒に日やけしながらがんばっていました。その大きな声を聞いたたびに、私もがんばろうと思い、一生けんめいにお手伝いをする事ができました。お父さんは外にまで聞こえるぐらいの大きな声で、お客さん一人一人のお名前を心をこめて読んでいて、お客さんの中には、なみだを流しながらそのお経を聞いている人もいて、何だか私もいつか一緒に心をこめてお経を読んでみたいなって思いました。そんな私の夏休みは大忙しの夏休みであんまり遊ぶ事は出来ないけれど、お客さんに「ありがとうね。」と言われたり、「お手伝いが出来てえらいね。」と言われるとうれしくなります。私のおじいちゃんとおばあちゃんもお盆でお家に帰って来て、そんな私を見てよろこんでくれたらうれしいなと思います。お盆は私がおじいちゃんとおばあちゃんがよろこぶ事をする事が大事なんだと思いました。遊びに行けなくて少しさみしいけど、おじいちゃんとおばあちゃんがよろこんでくれるなら毎日がお盆でも楽しいかも、と思う私の夏休みでした。

○豊橋市長賞

「がんばる」タッチ

吉田方小学校一年 伊庭 悠惺

ほくのかぞくは、なんでもできるかっこいいパパとおじょうりじょうず

なママ、いっしょにあそぶとおもしろいおとうと、そして、バスケットボールがうまくなりたいたいほくの四にんかぞくです。とてもなががよくて、かぞくみんなのことがだいすきです。

ほくがほいくえんにはいった三さいのとき、ママとはなれることがふあんで、まいにちのようになっていました。そんなとき、パパとほくがはつめいした、げんきがでてなんでもがんばれる「がんばる」タッチのやりかたを、ここでみなさんにしようかいます。しょうがく一ねんせいになつたいまでも、かぞくみんなでつづけてやっています。

まず「いってきます」のひとと「いってらっしゃい」のひとで、てのひらで一かい、てのうらで一かいタッチをします。つぎに、ゲータッチを一かいしたあと、デイズニーのベイマックスとしゅじんこうのヒロとのあいずのように、「バララララ」といいながら、ゆつくりとてをはなしていきます。そのあと、グーチョキパーのかたちをつくって、そのてのかたちでタッチをします。さいごに、ハグをしてパワーをじゅうでんしたらおわりです。これをする、えがおになって「よし、きょうもがんばるぞ。」ときあいがはります。パパやママも、ほくやおとうとと「がんばる」タッチをすると、おしごとをがんばれるそうです。

ほくは、かぞくとする「がんばる」タッチがだいすきです。パパとママは、ほくがかなしいときやげんきがないときも「がんばる」タッチをします。みんなですると、えがおになり、さいきょうパワーがもらえます。

ほくはいま、バスケットボールがうまくなりました。なかまとのチームワークがともたいたせつなスポーツです。いつか、かぞくだけでなく、チームのみんなとも、なかまのあいずをつくって、どんなひとともなかよくできるひとにほくはなりたいです。

家族を思う「約束事」

豊城中学校一年 田中丸 奈穂

私の家では、毎週土曜・日曜は必ず父とテレビ電話をしています。なぜかという、父は仕事のために私が小学校五年生のときに単身赴任でバンコクに行ったからです。父は家族みんなで来たかったらしいのですが、母の仕事や姉の進学もあり一人で行くことを決意したそうです。父の単身赴任が決まったとき、姉はすごく悲しそうでしたが、私はあまり実感がないまま父を見送りました。そのとき、父と母が「週末は家族でテレビ電話をする」とこと、「毎日安否確認の連絡を入れる」ことを決めたそうです。

私は、毎週末「電話をする時間だよ」と母に呼ばれるのが面倒に思うこともありました。見たいテレビがあるから今日は電話しなくてもいいのに、と思うこともありました。しかし、今では電話で父と話することが当たり前になり、その時間が家族にとって大切な時間だと思えるようになってきました。父と話す内容は、学校の話や普段の生活のささいな事ばかりです。でも毎週末話すことでとりとめのない会話でも十分に思えるし、時には会話もなく同じテレビをお互い見ているだけの時間もあつたり、普段から一緒にいるような時間を過ごせています。特に今はオンラインピックを見ながら話しをすることが多いのですが、離れていてもみんなと一緒に応援をしている実感があって家族も一致団結しているような気がします。

母は毎週末の電話を、私と姉が父親不在の感覚に慣れてしまわないように父と相談して決めたそうです。父の単身赴任中にちょうど思春期と重なるタイミングでもあったので、父と話さない時間が当たり前になってほしくないとの思いで約束事として決めたそうです。

その約束事のおかげで、メールやラインではなく声を聴いて顔を見て話すことができ、お互いの表情から疲れていそうだな、体調悪いのかな、と気付くこともあるし、逆に父から「何かいいことあった？」と私や姉の様子ですぐ気付かれることもあります。私たち家族にとってテレビ電話はなくてはならないものになっています。そして、そのおかげで、淋しい気持ちもあまり感じることなく暮らせています。

それから、父が単身赴任したときに、日本に残った母と姉と私で決めた約束事に、家のことはやれる人がやれることをする、ということがあります。普段からごみ捨ては私と姉の役割でしたが、母は仕事が忙しく帰りが遅いときもあるので、そういうときは早く帰った私か姉が夕飯を作ったりします。疲れているときは面倒だし嫌だと思えますが、それでも誰かがやらないと食べられないので私ができるときは頑張っ作っています。何度も作ると手際もよくなってくるし、おいしくできて、みんなに「おいしい」と言ってもらえると嬉しい気持ちになります。今は夏休みなので、作るものを決めて買い物にも行ってもっと手の込んだものを作ってみたいなと考えています。また、あまり好きではないですが洗濯や部屋の片付けもして、疲れて帰ってきた母と姉に喜んでもらいたいと思います。

このように、私の家では約束事がいくつもあります。初めは「なんで私が？」「お母さんなんだからお母さんがやって当然じゃない？」と思う

こともありました。家族でもお互いを思いやることや支え合うことが大事なことだと思うので、今ではそれぞれができることをやるんだという気持ちに変わってきています。もちろん無理をしてイヤイヤやるのは意味がないので、自分のできることをできる範囲でやっていこうと思います。

約束事という少し堅苦しいイメージがありますが、それは家族を思いやる優しさや、お互いを支え合う気持ちからなることだと思うので、これからも家族で決めた約束事を、家族の顔を心に浮かべながら実践していこうと思います。

◎豊橋市議会議員長賞

健康寿命伸ばし隊

鷹丘小学校五年 兼子 碧杜

ぼくは、ひいおじいちゃんのことを大好きだ！おじいちゃんは今年で九十六才になった。でもにんちしょうのしょうじょうも少し出てきている。ぼくはおじいちゃんには元気で長生きしてほしいので、「おじいちゃんの健康寿命伸ばし隊」を作った。隊員はぼく一人だけでも十分だ。まず、隊の仕事を考えた。にんちしょうについて調べて、お母さんと相談したりして三つの仕事を考えた。

①健康を守る。②体を動かす。③頭を使ってにんちしょうよぼうを実せんとすることにしました。三つのくわしい内容は①は外出後、食事前、トイレ後の手洗いのてっぺいをするです。おじいちゃんは三秒位しか手を洗わ

ないので、ぼくと一緒に三十秒かけて手の平、手の甲、手首、指の間をせっけんですっきり洗うようにしています。それと部屋の温度の点検をしています。夏は暑くないか、冬は寒くないか、かんそうしていないか確認したり、お風呂場、ろう下との温度差があれば、だんぼうを付けてあたたかくなつてからお風呂に入るように声かけをしています。

②の体を動かすは、一キロ公園へ散歩に出かけることです。おじいちゃんの歩く速さに合わせて歩きます。子供の頃の話や戦争の話、日本国有鉄道の話などします。ぼくの学校での出来事など、いろいろ話しながら歩いています。このごろは同じ話をする時があります。初めはまた同じ話か：と思ってしまうけれども、おじいちゃんのニコニコ笑い、楽しそうに話している顔を見たら何回でも聞いてもいいかなと思えるようになって、初めて聞いたみたいにちゃんと話を聞くようにしている。雨の日や散歩に行きたくない日は、かいごしの母に運動の仕方を教えてもらって、ベッドの上で横になりながらできる運動をやっている。最初は簡単な動きで楽しくできる運動を考えた。足を上げたり下げたりをしたり、足首を動かしたりしていた。今では、おしりをうかせる動きや足を反対の足で持ち上げることもできるようになった。少しむずかしい動きでも練習して、できるようになる。がんばってくれるのでぼくもうれしいです。

③の頭を使ってにんちしょう予防は、おじいちゃんとしょうじやオセロ、パズル、トランプ、計算パズル、チェスなどをしていく。しょうじはおじいちゃんにルールを教わった。ぼくはしょうじのルールをなかなか覚えられないで大変だったけど、最近ではちゃんとルールを覚えられたし勝負ができるようになった。おじいちゃんも「教えることができて良かったヨ。碧君としょうじができてうれしいな。」と言ってもらった。計算パズルは簡

単な計算パズルみたいにしてきそいあつてやっている。おじいちゃんは昔、駅で車しようとして働いていたので、計算が得意ですごく早いのでぼくはびっくりしました。

③ではぼくの方が教わったり、楽しんだり勉強になることがいっぱいあるので楽しい仕事です。でも、おじいちゃんがあきてしまったり、やる気をなくしてしまったりすることがあります。そんな時はいつもとちがったことをやったり、時にはお休みをしたりしておじいちゃんの体調と気持ちを考えています。

そんな健康寿命を伸ばし隊の仕事のおかげか、おじいちゃんはインフルエンザにもコロナ感せんしょうにもならず毎日三食しっかり食べて元気に過ごしています。おじいちゃんは週三回デイサービスに行っています。通っている人から「あなたはわか見えねね。」「ツエを使わないで歩いて足こし丈夫だね。」と言われてうれしいとおじいちゃんは言っています。それを聞いてぼくもうれしかったです。健康寿命とは、健康上の問題によって日常生活がせいげんされることなく生活できる期間のことを言うとお母さんが教えてくれました。ぼくはこの隊の隊長としておじいちゃんの健康寿命を一日一年と伸ばせるようにこれからもいろんな事を考え実せんしていききたいと思っています。

◎豊橋市議会議長賞

早起きして家族でイングリッシュ

栄小学校三年 山本 琢翔

ぼくは、二年生から英語を習いはじめた。きっかけは、ぼくが世界の国々の本をかりてから、外国人と会話をしてみたいと思って、お母さんに相談してみたからだ。

お母さんは、あるていあんをしてくれた。「習った英語を、お母さんに教えてほしいな。」

その一言を聞いて、ぼくはうれしくて目の前が明るく感じた。

ぼくの教室は、英会話ではなくて、リーディングやライティングが中心だ。毎日、しゅくだいが出るので、夕食後に少しずつやっていた。

しかし、夕食後だと学校でつかれていたり、お母さんも仕事でつかれていて二人で集中できなかった。ぼくは、お母さんにていあんを試してみた。

「早起きして朝に勉強してみるの、どう？」

お母さんは、笑顔で大さんせいしてくれた。

最初は、目をこすりながら英語を読んでいたのが、だんだん体がなれてきて、集中してできるようになっていった。

ぼくは、その日に覚えた英語をお母さんにせつ明することが楽しくてたまらなかつた。なぜなら、お母さんは、いつもぼくをほめてくれたり、ほかにも教えてほしいと言ってくれるからだ。ぼくたちが朝から楽しく英語を勉強しているすがたを見て、お母ちゃんが、

「私もいっしょに英語を勉強したいわ。」

とぼくに言ってきてくれた。

お母さんとお姉ちゃんがぼくの生とになってくれて、ぼくのことを、「タクトティーチャー。」

とよんでくれるようになった。ぼくは、てれかくしに笑ってごまかした。

ぼくたちが朝から大きな声で英語を読んでいると、一かいに住むおじい

ちゃんとおばあちゃんが、

「じいじとばあばにも教えてよ。」

と声をかけてきてくれた。

ぼくは、うれしくて英たん語のクイズを出したり、問題を作って二人に話した。

お父さんは、仕事に行くのが早いので、いっしょに勉強はほとんどできない。でも、休みの日には、ぼくの英語のクイズをすごく楽しそうにやってくれた。

家族六人が朝活で英語にふれて、わが家は朝から笑顔であふれている。朝活のおかげでお父さんにも、

「いってらっしゃい。」

とみんなで見おくりができるようになった。

英会話ができるのは、まだほど遠いけど、学ぶことは、大人になっても楽しいのだとお母さんやお父さんやおじいちゃんやおばあちゃんを見て、ぼくは知ることができた。

ぼくは、家族と学べるのが最高にしあわせだと思った。

◎豊橋市議会議員長賞

いきものもかぞく

東田小学校一年 小川 惺蓮

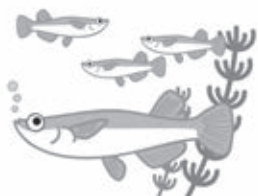
わたしは、おねえちゃんとおとうとがいて、三人きょうだいです。きょうだいみんなでなかよくすごせるひは、とてもたのしいですが、けんかも

よくします。けんかすると、なかなかおりをするのがなかなかできないけど、なかなかおりのいいほうがあります。それは、メダカのおせわをいっしょにすることです。メダカのえさやりをするとメダカたちがばくばくたべます。そのすがたがかわいく、おこっていたきもちもおちついて、なかなかおることができます。

いきもののおせわをするのがわたしはだいすきです。いままでに、メダカやインコ、モルモットなどがかったことがあります。わたしは、インコがすきでした。まいにちえさとみずやりをやらなければいけないのですが、わたしはインコにさわるのがこわくて、なかなかできませんでした。そんなとき、おねえちゃんやおとうと、おとうさんやおかあさんがインコをもったり、とりかごをそうじしたりしてくれました。かぞくみんなでいきもののおせわをするじかんは、えがおがあふれ、おもしろいきもちも生まれるのでわたしがすきなじかんです。

わたしはこれからも、しあわせなかぞくのじかんをすすすために、いきもののおせわをかぞくみんなで行っていきたいです。けんかすることもあっても、そんなときこそきょうだいやおとうさん、おかあさんとたすけあいいっしょにいきもののおせわをして、えがおあふれるかていにしていきます。

わたしたちかぞくにとって、いきものもかぞくのいちいんです。



◎豊橋市教育委員会賞

お母さんの負担を減らし明るい家庭に

南陽中学校一年 鈴木 ひなた

私の家では、朝ごはんを作ったり、ゴミを捨てたり、洗面所の掃除や洗濯、部屋の掃除やお風呂洗い、食器洗いや夜ご飯を作るなどのたくさんのお母さんの家事を、ほとんどお母さんが行っていました。ですが私と妹は、お母さんに頼まれたらお風呂洗いや食器洗いをするくらいで、大体の家事の手伝いはあまりしていませんでした。お母さんが遠くに仕事へ行って家に居ない時は、お父さんと私と妹の三人で家事をすることもありました。

「面倒くさいなあ。」

と思いつながらやるが多かったです。

ある日、お母さんが

「家事はお母さんだけの仕事だと思ってる？お母さんも疲れているから少しは分担してほしい。」

と言いました。私はそこで初めて、たくさんの家事を全て任せっきりにしていて、お母さんにとって大きな負担になっていることに気づきました。私は少しでもお母さんの負担を減らしたいと思いました。このことから、それぞれが無理のないスケジュールで家事を分担していくことが大切なのではないかと考えました。例えば朝の場合、ゴミ捨ては朝早く起きるお父さんが担当して、洗面所の掃除は洗面所をよく使う私がついでに掃除したり、洗濯し終わった洗濯物を洗面所の手いに取り込んだり、夜の場合はお風呂洗いを妹に任せてその間に私は食器洗いをして、私と妹の二人で夜

ご飯を運びます。お母さんが仕事で私たちが休みの日はご飯も作るようにしたら、効率的に家事が分担できるし、お母さんの負担も減って朝や夜の時間に余裕ができるのではないかと考えました。また、お母さんは毎日家族の為に思いつくほどに疲れていてもご飯を作ったり家事をしてくれたので、面倒くさいなんて言わずにお手伝いをしてお母さんが自由に使える時間を作ることくらいは当たり前のように感じました。

以前お母さんが風邪を引いて寝込んでしまった時、お父さんと私と妹の三人で家事をすることになった時がありました。朝ご飯を作り、妹は洗たく物をたたみ、お父さんは洗濯物を干し、私は食器洗いをしました。一通り終わって休けいをしているともう次の洗濯物がかわかし終わり、再びたたまなければいけなくなりました。終わったと思ったらまた次が来て、家事は本当に大変なのだと感じました。全部自分たちでやってみて、改めてお母さんがいつもやってくれていたことのありがたみを感じました。夜ご飯を作る時にも、思うように上手く出来ずに苦戦したし、その一日はいつもよりすごく疲れて、これを一日やるだけでも大変なのにほぼ毎日やってくれているお母さんは本当にすごいと感じました。これが家族全員で上手く分担できれば、お母さんもだいぶ楽になるだろうし、ストレスも減り良い家庭を築いていけるのではないかと考えました。

このように、家族それぞれが無理のないスケジュールで家事を分担していくことで、お母さんの負担を減らすことができると考えました。お母さんの負担が減り、それによって家族の時間が増えたら、明るい家庭につながるのだと感じました。家族の時間が増えたら、皆で集まってテレビを見たり、今日あったことを話したり、家族四人で一緒にご飯を食べたりしたいと思いました。家族の仲も深まるので、休日どこかへお出かけしたり、

少し遠くに旅行へ行ったりするのを楽しそうです。家事を分担するだけで、お母さんの負担が減ったり、家族の時間が増えたり、それによって家族の仲が深まったりとたくさんメリットがあると感じました。これからは全てお母さんに任せるのではなく、効率の良い分担のしかたで家事をやつていけたら良いなと思いました。まだまだ頼ってしまいがちなところもあるけれど、家族四人で協力し合いながら少しずつ明るい家庭をつくっていったら良いなと感じました。

◎豊橋市教育委員会賞

手から手へ元氣をつなぐあいさつ

東田小学校五年 野沢 青生

ぼくの家のあいさつは、お互いの手と手をパンッと強く叩いてあいさつする。いつからやっているのか覚えていない。どうして言葉であいさつするだけでなく、手と手をパンッと叩くのか理由が分からないままやっている。そのあいさつは、おじいちゃんとおばあちゃんに会った時も必ずやっている。

ぼくには二人のおじいちゃんとおばあちゃんがいる。どちらも大切なほくの家族だ。小さい時からお父さんもお母さんも毎日朝早くから夜遅くまで仕事をしていた。保育園のお迎えはいつもおじいちゃんとおばあちゃんがやってきていた。曜日を決めて、月曜日から水曜日はお父さんのおじいちゃんとおばあちゃんが迎えに来て、木曜日から土曜日はお母さんのおじいちゃんとおばあちゃんが迎えに来てくれた。おじいちゃんとおば

あちゃんに会った時は、必ず言葉のあいさつだけでなく手と手をパンッと叩いてあいさつをしていた。

ぼくが小学生になってもそのあいさつは変わらない。ぼくにも機嫌が悪い時もある。そんな時は誰にもあいさつなんてしたくない。でも、あいさつをしないとお母さんに

「あいさつのタッチがないよ。」

つとつこく言われる。

気分が乗らないときだってぼくにはあるのに分かってくれない。

「口であいさつした。」

つと強めの口調で伝えても意味がない。

結局手と手をパンッと叩かないとずっと言ってくるので、あきらめてあいさつしている。そんな時は怒りに任せて思いつき相手の手の平をパンッと勢よく叩いてあいさつする。それでもお母さんは叩かれた手をぶぶん嬉しそうにふって笑っている。なんのためにするのかぼくには分からない。

ぼくは十歳になって、お母さんにタッチしてないよって言われることはなくなった。タッチするあいさつがぼくの中ではもう当たり前となつてきたからだ。朝起きたら自然に軽くタッチしている。

夏休みは、おじいちゃんとおばあちゃんの家によく泊まりに行っていた。そこでも自然に朝起きたらタッチであいさつしていた。不意にぼくの家はなんでタッチであいさつしているのか気になった。お母さんにタッチでなんであいさつしているのか聞くと

「手と手が触れ合うことで、お互いの体調や機嫌がわかりやすいでしょ。それに、もし相手が元気がなかったら、相手を元氣にする力を持つてると

思うからよ。」

と言われた。ぼくは正直ビックリした。そんなことを考えたことがなかったからだ。

でも、おじいちゃんやおばあちゃんにタッチであいさつすると、いつも笑顔になっていた。流れてタッチをすると、いつももう一回強くタッチしてとお替わりタッチを求めてきたことも多かった。それに全力でこたえようと元気がもらえて嬉しいと喜んでいた事を思い出した。

我が家の手と手をパンッと叩くあいさつはただのあいさつじゃなかった。そこにはいつぱいの意味があつて、そこから知れることはお互いの体調や機嫌だけじゃなくて、心や体に元気を分け与えるパワーの元だと感じた。言葉だけじゃ伝わらない、手から手へ元気をつなぐ一方通行じゃないあいさつをぼくは自然と今までやっていたことが誇らしく思えた。これからもずっとずっと続けていきたいと強く思いました。そして、本当はぼくの家族だけじゃなく、もっと多くの人たちと自然にこんな関係でつながれるといいと思いました。

◎豊橋市教育委員会賞

野球ずきになった家族

鷹丘小学校三年 土屋 日向子

わたしと弟は意見が合いません。

「今日はごはんを食べに行こう。おすしかやき肉、どっちがいい。」と聞かれると、

「やき肉がいい。」

「いやだ、ぜったいおすしがいい。」

こんなふう意見が分かれてけんかが始まります。毎回こんなふうなので、弟はわざとわたしと反対の事を言っているんじゃないかとも思います。お父さんとお母さんも、けんかはしないけど同じように意見が合いません。だからわが家は、どちらかに決める時、必ず二対二に分かれるのです。

ある日、野球ずきのお父さんにさそわれて、みんなで豊橋球場に野球を見に行きました。そんな野球がわたしたちを変えてくれたのです。生の野球のはく力と大声でおうえんする楽しさに、その日から四人とも野球に夢中になりました。

今までは、外で遊ぶ時は公園でそれぞれ好きな遊具で遊んでいたけれど、今ではしんぱん、ピッチャー、バッター、ボール拾いに分かれて野球ごっこをしていっしょに遊んでいます。テレビを見る時も、リモコンの取り合いでけんかが始まっていたけれど、

「野球やってるよ。」

「やったあ、見よう見よう。」

と、おうえんグッズを持って仲よくテレビを見ています。

だけど、またここで問題が発生しました。お父さんは奈良県出身なので、小さなころから阪神ファンです。弟は強いチームがすきという理由で、去年ゆう勝した阪神をおうえんしています。わたしとお母さんはもちろん中日ファンです。中日と阪神でまた二対二になってしまいました。やっぱりわが家は意見が合いません。

でも、今回は今まではちがいます。同じ野球の中で好きなチームがちがうだけなので、おうえんはあつくなくなるけどけんかはしません。とくに中

日対阪神では、テレビの前で二対二になって、

「ナイス田中幹也。」

「中野拓夢打ってくれ。」

と、おたがい負けないうにおうえんがっせんをしています。点が入ると大さわぎで、球場にいるみたいですが、楽しい時間です。

野球に出会い、野球がすきだということではじめて家族四人の意見が合いました。そして家族のすごし方も変わり、より仲よくなつたと思います。これからも外でたくさん野球をしたり、テレビでたくさんおうえんしてみんなで仲良く野球を楽しみたいです。

◎豊橋市教育委員会賞

たまごしゅぎょう

汐田小学校一年 古橋 杏南

「みんなおきて。あんちゃんがたまごりょうりつくつたよ。」

わたしは、あさごはんのたまごりょうりとうばんです。パパも、ママも、おとうも、わたしのつくつた、たまごりょうりがだいすきで、いつもおいしいといつてたべてくれます。

わたしが、たまごりょうりをじょうずにつくれるのは、たくさんしゅぎょうしたからです。「おりょうりしたいなら、しゅぎょうしてみよう？」パパは、たまごマスターへのみちというかみをつくつてくれて、れいぞうこにはりました。わたしがたまごりょうりをいつかいてつだいすると、シー ルを一まいはれます。シー ルが三十まいあつまると、しゅぎょうがおわつ

て、じぶんであじつげできます。

さいしよは、たまごをれいぞうこからだすのと、たまごをまぜるだけの おてつだいでした。シー ルが十まいたまつたら、たまごをわたり、ウイ ンナーをきつてもよくなりました。ほうちようは、ねんちゅうのときから つかっているの、じょうずにつかえます。

シー ルが二十まいたまつたら、やいたり、いためたりしてよくなりました。さきに、きつたウイ ンナーをいためます。やけてきたら、まぜたたまごをいれます。このとき、じゅわあつという、おいしそうなおとがします。 おおきなスプーンでふわふわにまぜます。さいしよは、あつそうでこわかっ たけど、なんかいもれんしゅうしたので、いまはこわくありません。

三十かじめのしゅぎょうがおわつたとき、パパが「三十かいはよくがんばつ たね。これからはぜんぶひとりやっつけていいよ。」といつてくれて、とて もうれしかつたです。

それからわたしは、はやおきできたときは、みんながおきないようにそ おつとおきて、かぞくのために、おいしいたまごりょうりをつくります。 いろんなりょうりをつくれるようになって、おとなになつたら、おりょう りやさんになりたいです。

◎豊橋市小中学校PTA連絡協議会長賞

家庭での役割

牟呂中学校一年 江口 葵

「あー疲れた」これが父と母の口ぐせです。僕の家族は父、母、姉、僕、

弟の五人家族です。両親は家族のために毎日仕事をして、家では家事を分担してこなしてくれています。特に夕方仕事から帰ると猛スピードで家事にとりかかり、話しかけることもできません。そこで最初の口ぐせが発動します。僕たちは大変だなと思いつつ、姉は部活や宿題、僕や弟も部活や宿題、習い事などがあり、なかなか手伝うことができていません。それまでの僕たちの家庭での仕事といえば、犬の散歩、洗たく物を取り込むといった程度の簡単ですぐに終わるようなものしかありませんでした。

しかし夏休みに入り、時間の余裕ができたので、リビングの片付けを少しだけしてみました。自分たちのものを片付けて掃除機をかけたただけだけど、帰ってきた母は、少しきれいになった部屋を見て、驚いてとても喜びました。大掃除をしたわけではないし、たったそれだけのことでそんなに喜ぶのが意外でした。喜ぶ姿を見るのは悪くないと思っただうせなら両親がもっと喜ぶ事をしてやろうと思ひ、ある日僕たちは両親にたずねてみました。

「無くなったら一番うれしい家事って何？」

両親はまた驚いた顔でこう言いました。

「帰ってきた時にご飯ができていたらうれしいな。」

たしかに母は帰ってくると休む間もなく食事作りを始めます。僕たちの習い事の送迎があるからです。それを聞いて僕たちは

「じゃあ帰ってくるまでの間に作れるご飯を作っておいてあげる。」

と伝えると両親はとても喜びました。あまりに喜ぶので少しプレッシャーを感じましたが、まあ三人でやれば大丈夫だろうという気持ちで次の日から早速やってみることにしました。

いきなり全部の食事作りは難しいので、ごはんを炊く人、みそ汁や簡

単なおかずを作る人、その他の仕事をする人で分けることにしました。姉弟で話し合って今日はだれが何をやる、ということも自分たちで決めました。それでもうまくいかなかったり、けんかになったりして、母たちがやるよりもずっと時間がかかりました。何とかなるだろうと思っただけでしたが、なかなか思ったとおりにいきません。改めて両親は大変な家事を仕事で疲れた後にも毎日当然のようにこなしていたんだと今までの自分たちを反省しました。

実際にやってみると、母は家事のことをいろいろ教えてくれるし、父も出来が悪くても文句ひとつ言いません。ふたりしてありがとうと笑顔で言ってくれました。僕たちは毎日作ってくれたご飯を食べ、掃除や洗濯をしてもらい、習い事の送迎までしてもらっていたけれど、「ありがとう」を言ったことはあつたでしょうか。両親は、自分たちからやると言ってくれたことがとてもうれしかったと後から話してくれました。

うちは父も母同様に家事はひと通りできます。どちらでもできれば何かあつたときに困らないと母はよく言っています。ふたりとも働いているので家庭での仕事はだれが何をやるのかはつきり決めるのではなく、できる人で分担してやればいいというルールにしているそうです。

僕たちもまだ簡単なものしか作れませんが、夏休み中にレパートリーを増やしたり、他の家事ももっと積極的に取り組んでいこうと思います。そして家族の疲れた顔が減り、もっともっと笑顔が増え、父や母が言う「あー疲れた」が無くなると思います。

私は小さなお母さん

栄小学校五年 山本 愛莉

私の学校は、定期的に南丸チェックカードというカードがある。それは早寝早起きやメディアの時間や三色の朝食や睡眠などを規則正しくできているか確認するカードだ。カードの裏に三色の食材の表も書いてあった。お母さんは表を確認して、おみそ汁や卵焼きやサラダを作ってくれた。

私は五年生から家庭科の授業がはじまり、調理実習も経験した。お母さんに、

「私も一緒にご飯づくりをしたいな。」

とお願いしてみた。お母さんは、

「もちろんよ。助かるわ。」

と喜んでくれた。

夏休みに入って、私はお母さんと一緒にキッチンに立つようになった。

はじめは、お米のとき方をお母さんに教えてもらった。まずはお米を正確に量ることの大切さを教わった。次に、お米が全部浸るくらい水を入れて、手で軽くお米を三回転させたら、素早く水を全部捨てた。そして、水がほとんどない状態のお米を、シャカシャカとやさしくとぐのがポイントだとわかった。

私は水の取り替えを二回行い、合計三回といた。たきたてのお米を食べると、家族は、

「とってもおいしいね。ありがとう。」

とほめてくれた。

その言葉を聞いて、もっと料理をしてみたくなった。早速、図書館に行き子ども用の料理の本を借りて読んでみた。

基本の和食から説明が書いてあったので、みそ汁を作ることにした。お母さんと弟とスーパーに買い物に行ってみそ汁の具材を選んだ。弟に何を入りたいか聞くと、

「お肉が大好きだから、みそ汁に入れてほしいな。」

とリクエストされた。お母さんに相談して、とん汁をつくることにした。野菜の切り方から、だしのとり方など丁寧にお母さんは教えてくれた。お母さんとおしゃべりしながら作ることができて、私はすごくうれしかった。

完成したご飯ととん汁は、家族みんなで食べた。弟とお父さんが、

「お姉ちゃんが作ってくれたご飯は、いつもよりおいしく感じるな。」

と言ってくれた。私はお母さんにつこり微笑んだ。お母さんが、

「あいちゃんが一生懸命作ってくれたのよ。」

とみんなに話してくれた。

ご飯を食べた後、お皿洗いは私と弟の二人でやることにした。弟がスポンジに洗剤をつけてお皿を洗って、私がふきんでお皿をふく係だ。二人で分担して協力してできた。お皿洗いが終わるとお父さんが、

「お母さんに秘密だぞ。」

と言ってこっそりおこづかいをくれた。私と弟は、小さな声で、

「ありがとう。お父さん。」

と言って部屋に行った。

料理の他にも、洗濯物を干したり、ゴミの分別をしたり、たくさんお手伝いできた。

お手伝いをして、お母さんは毎日こんなに大変だということがよくわかった。見ていただけだとわからなかったけれど、自分が体験してみても感謝の気持ちでいっぱいになった。

この夏休みで、お手伝いを通して大切な事を学ぶことができた。家族からは、私のことを

「小さなお母さん。」

と言ってもらえるようになった。なんだか、少しは恥ずかしいけれど、本当はうれしい気持ちでいっぱいだ。

いつか、お母さんのような優しくして子ども思いな母親になりたいと思った。

◎豊橋市小中学校PTA連絡協議会長賞

みんなにハンハン手まきずし

中野小学校三年 大竹 穂実

わたしのうちは、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、弟、わたしの六人家族です。明るい家ていづくりのひけつとして、家族みんなが笑顔になるごはんをしようかいます。わたしのうちは、おひなさまや、こどもの日、たん生日など、家族でおいわいする行事の日には、いつもきまつて手まきずしをします。でも、ただ手まきずしをするというだけではありません。家族みんなに、それぞれ役わり分たんがあります。

まず、おじいちゃんの役わりです。おじいちゃんは、家族のために、にわの畑でいろいろな野菜をそだててくれます。手まきずしをするとき、わたしはおじいちゃんと外へ出て、手まきずしにつかう、キュウリやトマ

ト、ねぎ、しその葉などをとりに行きます。おじいちゃんの畑でとれた野菜は、どれもあまくておいしいです。

おばあちゃんは、すめし作りのたつ人です。すと、さとうと、しおを、ちようどいいあんぱいに入れて、つやつやのすめしをつくってくれます。いつも目分りようで、あんなにおいしいすめしが作れるおばあちゃんは、すごいです。わたしも、おばあちゃんのやり方をよく見て、おぼえたいです。

お父さんは、手まきずしにまくざいりようを手ぎわよく用意してくれます。弟は、生の魚がまだあまり食べられないから、お父さんはお肉もやいてくれます。家族みんなのこのみに合わせて、ざいりようを用意してくれお父さんは、本当に家族おもいでやさしいです。

お母さんは、あつやきたまごをやくのがとくいです。うちは六人家族だから、たまごを六こ使つて、大きなたまごやきを作つてくれます。わたしは、たまごのからをわつたり、調味料を入れてかきませたりする手伝いをします。できあがつたたまごやきも、わたしがほうちようで細長く切ります。いつもお手伝いをしてると、どんどん上手になつてきます。家族のみんなに、

「ほのみがお手伝いしたから、今日のたまごやきは、いちだんおいしいね。」と、ほめてもらえると、とてもうれしい気持ちになります。今度は、やくところも、ちようせんしてみたいです。

みんなできよう力して手まきずしの具材がじゅんびできたら、ついに食べる時間です。おじいちゃんがいつも、のりの上にごはんをのせてくれます。そして、それぞれで、自分の好きな具をたくさんまいて食べます。家族全員でわいわい食べる手まきずしが、みんな大好きです。弟が、

「おいしいね、たのしいね。ほつぺたがおちちやう！」

と言って、いつもにこにこ食べます。そうすると、家族みんながにこにこ笑顔になります。みんなを明るくする弟も、家族にとって大切な役わりです。これからも、おいわいの日には、全員で手まきずしをしたいです。

◎豊橋市小中学校PTA連絡協議会長賞

あたらしいかぞく

植田小学校一年 橋本 理叶

ぼくのかぞくは、よにんかぞくです。おとうさん、おかあさん、いぬのうる、ぼくです。そしてもうすぐごにんかぞくになります。おかあさんのおなかに、あかちゃんがいるからです。

おかあさんのおなかにあかちゃんがきたとわかったときは、いつかおにいさんになりたいとおもっていたので、

「え、ほんとうに？すこい。」

といつてうれしくてびっくりして、ゆめみたいでした。

でも、おかあさんは、たいちょうがわるくてごはんをたべられなくなりました。とてもたいへんそうでした。ぼくは、しんぱいになって、

「かわってあげたい。」

といました。でも、ぼくはおとこのこなのであかちゃんをうむのをかわってあげられないとしました。だからたくさんおてつだいをして、たすけたいとおもいました。

いつもおとうさんは、おかあさんをたすけています。だから、おとうさんがしごとのときはぼくがたすけたい、とおかあさんにいいました。する

と、おかあさんはうれしそうに、

「ありがとう、ほんとうにたすかるよ。」

といました。ぼくもうれしくなりました。

かいものに入ったとき、ぼくがにもつをくるままではこびました。いねんせいになったぼくは、まえよりちからがつよくなったので、おもいにもつはこべます。

ぼくがおかあさんのおなかをさわると、ぼこぼことうごきます。あかちゃんがよろこんでいるみたいでうれしくなります。

そして、あかちゃんは、おとこのこだとわかりました。ぼくにいていかもしれないので、あえるのがとてもたのしみです。

ぼくは、かっこいいおにいさんになりたいです。そして、おとうとにいろいろなことをおしえたり、いっしょにあそんだりしたいです。

◎豊橋南ロータリークラブ会長賞

楽しむことの大切さ

羽田中学校一年 榊原 華子

「すげー！やばっ、懐かしー！」

「ギャハハハハッ、イヒヒヒヒッ」

今年の夏休みは、いつにもまして我が家は賑やかです。

春から兄は高校生、私は中学生になりました。我が家は昔から会話や笑いが絶えない仲良し家族です。父や兄はいつもふざけているし、母はそんな父や兄の様子を見て、笑ったり怒ったりしています。大好きな家族だけ

ど、部活や高校の補習、塾などで生活リズムが変わり、最近家族がそろって機会が減って少し寂しいなあと思っていました。

兄は自分の部屋があるけど、私にはないので自分の部屋が欲しいと思っていました。でも、母は「時間がある時にやろう」とか、「年末の大掃除の時にしよう」と言って、私は「やるやる詐欺だなあ」と思っていました。中学生になってテスト勉強もあるし、今年こそは絶対に自分の部屋が欲しいと考えていました。

十年くらい前に家を建て、私の部屋になる予定の場所は、荷物置き場になって物であふれています。大きい荷物もあり、私の部屋作りは家族全員で協力しないとできないミッションになっていました。しかし、いざ夏休みに入ると、暑いことを理由にダラダラ過ごしてしまい、部屋を作りたいと思っていたことも忘れていました。そんな時、お盆に祖父母の家に行つて、終活で頑張つて荷物を減らしていることを知りました。片付ける荷物の中には、母が小学生の頃の作品や、私が字を覚え始めた頃の変な形の文字、めちゃくちゃ下手な絵があり、家族みんなで笑いました。ちゃんとした作品ではなく、ちょっとした落書きもとつてくれていて、祖父母の愛情を感じました。物を片付けるのはすっきりするけど、大切な物や思い出は大事にとつておきたいと思いました。

お盆中は部活や塾もなく家族全員がそろっていたので、今しかないと思っ部屋作りをすることにしました。いざ片付けを始めると、兄が小さかった頃のおもちゃを見つけて、父と二人で戦隊ヒーローになりきって大騒ぎしていました。母は疲れたと休憩ばかりで片付けがはかどりませんでした。私は布団を干したり、言われた荷物を違うところに移動したり自分の部屋ができる嬉しさで頑張りました。休憩中、父が学生時代の文集を出してき

て、思い出を楽しそうに語っていました。父の知らない一面を知った気がして面白かったです。

いつもはふざけている兄も、今回は兄らしく大きい物や重たい荷物を運んでくれて、「頼りになるなあ」と思いました。今まで本やチラシを見て好きな部屋のイメージはできていました。でも、欲しい家具はまだそろっていないので、今ある物でしばらくは過すことになりました。

いざ自分の部屋ができると、「勉強しなさい」と言われることもなく、自由な時間もできて少し大人になった気分になりました。けどしばらくすると、誰かと会話することもないし、父や兄のくだらない言動もなくて寂しさを感じました。

仲良し家族でいる秘けつは、くだらないことで笑い合えたり、大変なことを全力で楽しみながら協力し合える事だと思います。今回の私の部屋作りは、暑い中で大変だったけど家族のありがたみが分かる出来事でした。これから反抗期になるかもしれないけど、部屋にこもらずに家族との距離感を大切にしていきたいです。

◎豊橋南ロータリークラブ会長賞

わたしの役割

汐田小学校五年 安藤 詩菜

わたしは、毎日ご飯をたいています。なぜかと言うと、お母さんに、「小学生になったから、何か一つ毎日続ける事が出来るお手伝いをしよう。」と言われて、ご飯たきを始めました。わたしは初めて自分の役割をもらっ

て、がんばろうと思いました。

さつそくやってみると、初めてのご飯たきは、とてもむずかしかったです。わたしのご飯のたき方は、お米の分量を量って、ザルの中にお米を入れて、水道水であらいながら、手でしゃしゃかとかとあらいまわす。お米をザルの中であらう時と、ザルからおかまにお米をうつす時に、たくさんお米がこぼれて、ひろうのがとても大変でした。たき終わったら、お母さんが、「ありがとう、がんばったね。」

と言ってくれてうれしかったです。これからもわすれずにがんばるぞ、と思いました。それからわたしは、毎日休まずご飯たきをがんばりました。毎日やっているの、自然と、ご飯たきのやり方になって、お米をこぼさなくなりました。

ある時、おいしいご飯のたき方のテレビがやっていました。そのやり方は、お米をおかまに入れて、美味しい水を入れます。美味しい水とは、じょう水器の水や、ミネラルウォーターのことです。それを捨て、二十回お米をグルグルかき混ぜます。そして、お米をすぐために水道水を入れて捨てる作業を二回します。そして、もう一度お米をグルグルかき混ぜ、水道水を二回捨てて、最後に美味しい水を分量通り入れて完成です。家族にもっとおいしいご飯を食べてほしくて、さつそくやってみたら、今までよりむずかしくて、前のやり方よりも、さらにお米がこぼれてしまいました。お米がこぼれない方法を、毎日色々考えました。そして、水を捨てる時に、ザルをおかまにはめて水を捨てると、お米がこぼれなくなる事に気がつきました。そのやり方を見ていたおばあちゃんが、

「よく思いついたね！いい案だね。」

と言ってくれました。ご飯をたくと、家族が

「詩菜がたくご飯は、美味しいね。」

と言ってくれて、とてもうれしかったです。たまに、水の量を間ちがえて、かたいご飯や、やわらかいご飯をたいてしまうこともあるけど、これからも、わたしの役割として、毎日続けていきたいです。

学年が上がって、わたしは、お米たき以外にも、家族に喜んでもらえるお手伝いをしてみたい、と思いました。そこで学校で友達が作っていると聞いていた、たまご焼きを作ってみることにしました。初めは、お母さんに手伝ってもらいながら、あまいたまご焼きを作りました。たまごをわけて、さとうを入れて、少ししょう油を入れて焼きました。出来上がって味見をしてみたら、おいしかったので、とてもうれしかったです。家族にも食べてもらい、みんなおいしかったと言ってくれました。わたしは、あまいたまご焼きだけでなく、他にもたまごで作る料理にちょう戦したいと思いました。そして今度は、だしまたまごにちょう戦してみました。だしまたまごは、白だしを入れて、たくさん水を入れるので、あまいたまご焼きより、たまごのえきがうすくて、丸めるのにたまごが切れてお母さんに最初は丸めてもらいました。何度も練習をしてだんだん自分で出来るようになりました。家族は、

「上手に出来たね。詩菜のたまご焼きはあまいのも、だしまたまごもどっちもおいしいね。」

と言ってくれました。これからもたまごを使った料理を作って家族に喜んでもらいたいです。

わたしは、自分の役割が出来たことで、一つの事をわすれずに、続けることは大変だと言う事がわかりました。しかし、家族が喜んでくれるのでとてもうれしくて力が出ます。これからも、自分の役割としてお米たきを

続けながら、他にもいろんなお手伝いにちょう戦したいです。

◎豊橋南ロータリークラブ会長賞

ぼくのお父さん

磯辺小学校三年 説田 伊吹

ぼくのお父さんは、六月九日から、のどのガンでにゅういんしました。ずっと前から体ちようがわるいと言っていたけど、まさかガンだとは思わなくて、びっくりしました。

いつもぼくにおこってきて、全ぜんやさしくないけど、つらそうなすがたを見て、ちょっとかわいそうだなと思いました。

お父さんがにゅういんしてからは、いっしょに話すことがへったし、夏休み中に毎日いっしょにやりたかった野きゅうの練習もお母さんとやることになりました。いつもいっしょにキャッチボールをしたのに、なんだかさみしかったです。

はじめてびょういんへおみまいに行った時、大きくて強かったお父さんが、やせてつらそうにしていました。後から聞いたら、体重が十五キロもへったらしいです。がんばってちりょうしているお父さんは、よわよわしくてもかっこよかったです。

ずっとびょうきとたたかっているお父さんを見て、ぼくに何かできることはないかと考えました。お父さんはしゃべれないので、しゃべれなくてもいっしょに楽しく会話ができる方ほうはないかなと、たくさん考えました。

お姉ちゃんやお母さんにそうだんしてみると、お姉ちゃんたちが小さい

ころにやっていた、こうかん日記のことを教えてもらい、それをやることにしました。

お姉ちゃんやお母さんといっしょにメッセージをびょういんへ行くたびに書きました。いつもお姉ちゃんたちとは、ケンカしてばかりだけど、その時は、きょう力している気がしてうれしかったです。メッセージを書いたその日には、へんじがかえってくるので、はなれていてもいっしょにいる気がしました。

手紙以外のこともたくさんがんばりました。今までのこしてばかりいたごはんも、お父さんは食べれないと思うと手が自せんとすすみ、のこさず食べるようになりました。野きゅうもたくさんじゅれんしたし、お手つだいもがんばりました。

おぼんやすみに、ちりょうをおえたお父さんが家へ帰ってきました。まだ体力がなくてねていることが多いので早くもとの元気なお父さんにもどってほしいです。

お父さんが元気になったらいっしょにやりたい事がたくさんあります。野きゅうの練習、バーベキュー、たくさんおしゃべり、ドッチボールなどいろんなあそびをわらっていっしょにやりたいです。かぞくでおでかけもしたいです。

ぼくは、らいげつで九さいのたんじょうびです。お父さんやお母さんにおこれなくても自分からしゅくだいをやったり自分のことは、自分でやるようにがんばりたいです。

おたんじょうびは、かぞくそろってわらってすごしたいです。

おうちなつまつり

東田小学校一年 及部 紋児

ぼくのいえではなつまつりをします。しゃてきやせんぼんびきなどたのしいことをいっぱいします。ねんちゅうのときにやって「ことしもやりたいい。」といったらばばとママが「いいよ。」とってくれました。ことしはおとうとのたんじょうびにやることになりました。まいにちカレンダーをみてあとなんにち、とかぞえました。おとうとのプレゼントもよういしました。チョコパンとソフトクリームをおりがみで取りました。ばばとママはぼくがほしいものをプレゼントしてくれます。だからぼくもおとうとのすきなものをつくりました。なつまつりのひまでかくしておきました。

なつまつりのひ、ママの「はじまるよー」のこえではじまりました。さいしょはゲームをするためのちけつとをとるため、きょうだいできょうりよくしました。みんなでわっかをつくってそうだんしてなぞなぞにこたえました。げつとしたちけつとでせんぼんびきをしました。ばばが「いらっしやい」とにこにこしていました。いもうとがほしがっていたものがあつたので、こうかんしてあげました。しゃてきもやりました。みんながすきなきやらくたーのけいひんがあり、もりあがりました。さいごにママがほしいといっていたものがのこりました。あと一かいちけつとがあつたので、ぼくはいらなかつたけど、ママのためにあてようと思いました。いっばつであたつてままだとわたと、けいひんのうらにはぼくのほしかつたカードがついていました。びっくりして「なんで?」ときくと「もんちゃんはやさ

しいからぜったいにとつてくれるとおもつた」とママがいました。ばばとママはなんでぼくのよろこぶことがわかるのかなとおもいました。よるのたんじょうびかいでつくつたプレゼントをわたすとおとうとはにやにやしてうれしそうでした。いもうともおとうともわがママだけ、いないとさみしいし、たのしいこともいっしょにできないから五にんかぞくでよかつたです。またらいねんもなつまつりをやりたいです。



壁新聞の部

ハピハピ

高根小学校6年 吉田 詩野
4年 吉田 大志

令和6年 8月22日

ハピハピ

第1号

DESSERT MENU

フルーツケーキ、アイスサンド、シュークリーム、チョコレートケーキ、クッキー、パンケーキ、トiramisu、マカロン、クッキーサンド、シュークリーム、チョコレートケーキ、クッキー、パンケーキ、トiramisu、マカロン

休日はみんなで読書と運動

ハピハピ

高根小学校
6年 吉田 詩野
4年 吉田 大志

心も体も元気いっぱい!

私の家族は、休日に読書と運動を楽しくしています。読書の良いところは、想像力が豊かになることです。また、運動は体力を鍛え、ストレスを解消してくれます。家族みんなで楽しむことで、絆も深まります。

みどりのカーテン大成長

ぼくの家族は、緑のカーテンを作っています。緑のカーテンは、夏の日差しを遮り、涼しさを保ちます。また、虫除け効果もあります。今年、カーテンの成長が素晴らしく、家族みんなで楽しみました。

がんばれ アルビレックス 新潟!!

ぼくの家族はサッカーのファンです。アルビレックス新潟の試合を見ることが大好きです。お父さんが新潟県出身で、昔からアルビレックス新潟のサポーターでした。お父さんがアルビレックス新潟の試合を見ることが大好きです。お父さんが新潟県出身で、昔からアルビレックス新潟のサポーターでした。

うちのねーちゃん

うちのねーちゃん、名前が「おにぎり」です。おにぎりは、毎日おにぎりを食べています。おにぎりは、毎日おにぎりを食べています。おにぎりは、毎日おにぎりを食べています。

あともぎき

おにぎりのねーちゃん、おにぎりを食べています。おにぎりは、毎日おにぎりを食べています。おにぎりは、毎日おにぎりを食べています。

壁新聞の部

だんご3兄弟

下条小学校5年 守田 一颯
2年 守田 渚

6年 8月 30日

「だんご3兄弟」

第 3 号

消しゴムに冷や汗 今日、汗を流さぬ日は...

国 次男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

国 長男編 ばちし 筆記用具、そろそろ...

人生 変えたブレキン

ある日、主人が社長に逆立ちをして回転しているアニメのシーンに夢中になり、すぐお庭で逆立ちの練習を始めました。

最初は、逆立ちの練習が辛く、お庭の土は汚れてしまいましたが、毎日練習していると、お庭の土は綺麗になってきました。

逆立ちの練習だけでなく、いろいろな運動も始めました。毎日運動していると、体が健康になりました。

逆立ちの練習を通じて、いろいろなことを学びました。これからも運動を続けたいと思います。

逆立ちをして、お庭の土が綺麗になりました。逆立ちの練習が、人生を変えました。

逆立ちの練習を通じて、いろいろなことを学びました。これからも運動を続けたいと思います。

逆立ちをして、お庭の土が綺麗になりました。逆立ちの練習が、人生を変えました。

逆立ちの練習を通じて、いろいろなことを学びました。これからも運動を続けたいと思います。

だんご3兄弟

下条小学校 5年 守田一颯
2年 守田 渚

無事に合格 ばちし 筆記用具、そろそろ...

無事に合格 ばちし 筆記用具、そろそろ...

無事に合格 ばちし 筆記用具、そろそろ...

無事に合格 ばちし 筆記用具、そろそろ...

無事に合格 ばちし 筆記用具、そろそろ...

無事に合格 ばちし 筆記用具、そろそろ...

無事に合格 ばちし 筆記用具、そろそろ...

無事に合格 ばちし 筆記用具、そろそろ...

無事に合格 ばちし 筆記用具、そろそろ...

無事に合格 ばちし 筆記用具、そろそろ...

無事に合格 ばちし 筆記用具、そろそろ...

無事に合格 ばちし 筆記用具、そろそろ...

無事に合格 ばちし 筆記用具、そろそろ...

あかやのパーツルおばあちゃん

ばちし 筆記用具、そろそろ...

あとかき

ばちし 筆記用具、そろそろ...

目指せ オリンピック

逆立ちをして、お庭の土が綺麗になりました。逆立ちの練習が、人生を変えました。

工作のために

ばちし 筆記用具、そろそろ...

寝る前のひと笑い

ばちし 筆記用具、そろそろ...

ドラゴン

東田小学校2年 羽田野 奏太

令和 6年8月31日

ドラゴン

ピールゼリー

- ゼラチン50ccのお湯に溶かす。
- 200ccのジュースをくわえる。
- コップにゼラチンとジュースをいれる。
- 冷蔵庫で冷やして固める。
- お好みでフルーツをのせて食べる。






ぼくんちのはたけ



トマトがわめた!!



だいのこの花の色は? トマトの葉がわれたのはなせ? ぼくんちのはたけはなぞがいろいろある。

ぼくの家では、にわで野さいを育てています。おいしい野さいもとれますが、はき出すほどまじいやさいもとれます。この間は、皮がやぶれたトマトが出来ました。そんな時は、家づくでほせとさ大会です。ぼくは水が多すぎると思いました。凡は、虫に食べられたからだといい、母はあんな野さいの花でいいから。

また、お母さんは、ぼくが作ったトマトジュースを飲んでくれました。ぼくは、お母さんに感謝の気持ちをこめてお礼をしました。

ドラゴン

東田小2-2 羽田野 奏太



ピールゼリー

おとうさんとおにいちゃんには、お礼の気持ちをこめてお礼をしました。

おとうさんは、おにいちゃんには、お礼の気持ちをこめてお礼をしました。

おとうさんとおにいちゃんには、お礼の気持ちをこめてお礼をしました。

おとうさんは、おにいちゃんには、お礼の気持ちをこめてお礼をしました。

ぼくは、友達とバトルをしました。友達とバトルするのは、とても楽しいです。

バトル



バトルは、友達と競争することです。友達と競争するのは、とても楽しいです。

おとうさんとおにいちゃんには、お礼の気持ちをこめてお礼をしました。

おとうさんは、おにいちゃんには、お礼の気持ちをこめてお礼をしました。

おとうさんとおにいちゃんには、お礼の気持ちをこめてお礼をしました。

おとうさんは、おにいちゃんには、お礼の気持ちをこめてお礼をしました。

おとうさんとおにいちゃんには、お礼の気持ちをこめてお礼をしました。

おとうさんは、おにいちゃんには、お礼の気持ちをこめてお礼をしました。

ドキドキ

東田小学校2年 西川 柚希

2024 8 31

ドキドキ

2

おとうさんは、トカゲ大すき

わたしの2024なっ
わたしのはじめて

おつかあさんが・・・

いもうとと2人だけで・・・

「わたし」と

「いもうと」も

大すきに

東田小学校
2年1組
にし川 柚希

たべてみた

わたし

はんにやしんぎょう

おとちプール

つきました!!

家でぞくりよう

あとがき

おとうさんが二年前...

二回目のしん間作り...

壁新聞の部

コーヒー新聞

東田小学校6年 柘植 皓太郎
4年 柘植 仁実

令和6年 8月29日

コーヒー新聞

第2号



きゅうり育ていっしょ
うまできりかた



きゅうり育ていっしょ



きゅうり育ていっしょ



きゅうり育ていっしょ



きゅうり育ていっしょ

入院した家族のために

ポン太とわれらの十日間

コーヒー新聞

東田小学校
6年 柘植 皓太郎
4年 柘植 仁実

今年の夏休みには、かねて体調が悪かったおばあちゃんが入院することになりました。おばあちゃんとの別れは、私にとって最大の課題となりました。おばあちゃんとの別れは、私にとって最大の課題となりました。

おばあちゃんとの別れは、私にとって最大の課題となりました。おばあちゃんとの別れは、私にとって最大の課題となりました。

おばあちゃんとの別れは、私にとって最大の課題となりました。おばあちゃんとの別れは、私にとって最大の課題となりました。

めさせクッキングマスター

私たちが思っているのは、毎年夏休みには、何かを習得させることです。家族が楽しく料理をすることが、おばあちゃんとの思い出になると思います。今年も料理を習得させることにしました。おばあちゃんとの思い出になると思います。

おばあちゃんとの思い出になると思います。今年も料理を習得させることにしました。おばあちゃんとの思い出になると思います。

梅干道

梅干道は、梅を干して作るお菓子です。梅干道は、梅を干して作るお菓子です。梅干道は、梅を干して作るお菓子です。

梅干道は、梅を干して作るお菓子です。梅干道は、梅を干して作るお菓子です。梅干道は、梅を干して作るお菓子です。

あとがき

2日目のかき紙新聞は、1日よりも上手にできました。おばあちゃんとの思い出は、私にとって最大の課題となりました。おばあちゃんとの思い出は、私にとって最大の課題となりました。

おばあちゃんとの思い出は、私にとって最大の課題となりました。おばあちゃんとの思い出は、私にとって最大の課題となりました。

壁新聞の部

ににかにか

下条小学校2年 村上 仁花

れいわ6年 8月24日

ににかにか

だい / ごう



防災合言葉

「ぼうさい」について下条小学校は今年「ぼうさいモデル校」になりました。それだけでなく、「ぼうさい」について話し合うことになりました。ピールが「大地しんがおきた時うんがよければたすかるし、うんがわるければたすからない」と、さつていつもと同じです。本が大きさなおかあさんは、ほんたいにぼうさいについてでんきょうしなき、「はりさつていました。」

て学び、考える？ わたしは二人の話聞いて、「ぼうさい」って何？ と思いました。ぞくぞくと書き分へ行き、ぼうさいのえ本をかりて読みました。でも、こま。たことにえ本なのはとてもおもしろくて、よくわかりませんでしたが、「ぼうさいは、さいがいおちのちや生活をまもるために大せつなことです。かあさんが教えてくれました。少しだけ、ぼ

まずは 知る



下条小学校
2年
村上 仁花

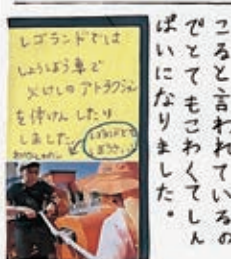
地震しんがおきたらうんがよければたすかる

八月八日、九しゅう地方で地震しんがおきました。その日、わたしは名ごやのレゴランドをたのしんでいました。おとうさんから地震のこと聞いた時、わたしははてんどゆれなかんじませんでした。でも、かえる時にちゅうしゃ場でつなみひなのぞきを見てわたしはつなみがおきた時にこのうのがよくわかりました。空にかえて、ニ

「ぼうさい」と思いました。ぞくぞくと書き分へ行き、ぼうさいのえ本をかりて読みました。でも、こま。たことにえ本なのはとてもおもしろくて、よくわかりませんでしたが、「ぼうさいは、さいがいおちのちや生活をまもるために大せつなことです。かあさんが教えてくれました。少しだけ、ぼ

大すき2人の おばあちゃん!

わたしには大すきなひいおばあちゃんとおすきなおばあちゃんがあります。ひいおばあちゃんは98歳です。ひいおばあちゃんとはいいおじいちゃんとは下条のせん頭をしておばあちゃんにはいつもレゴブロックで遊ぶことができます。50年ぐらい前に下条で水がいたことや、今はとよ川ようちで、とよ川の水をちゅうせつしているの、おかしよりも水がいたと教えてくれました。



あとがき

かまさん園を作ってぼうさいへのいんげんをすくえたいとわかりました。

火じだ

八月十五日は下条で火事がおきました。家のなかのじんきにペトカーが家のまじから見えなりました。つぎの日のあせとイレなどの水が色々になつていました。おとうさんに聞いたら、火をけすためのせつひをつかうとちかくなるから、しばらくは家の水栓のんではいけませんよ。と教えてくれました。それから、はみがきやうがいもでットボトルの水でした。おかあさんはあらいものやごはんのしとごま、ていきました。さいがいにはえなえてあった水がやくだちました。

なつぞら

鷹丘小学校5年 牧野 悠桜

2024年 8月 23日

なつぞら

第3号

わが家の いやし

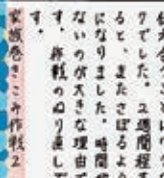
夏が来たから夏休みの行事や夏休みの予定をいれていきます。



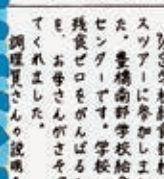
巻きこみ 大作戦



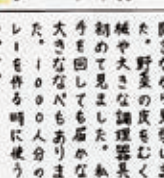
巻きこみとは、夏休みの行事や夏休みの予定をいれていきます。



巻きこみとは、夏休みの行事や夏休みの予定をいれていきます。



巻きこみとは、夏休みの行事や夏休みの予定をいれていきます。



巻きこみとは、夏休みの行事や夏休みの予定をいれていきます。

家族でストレッチ

ストレッチは、夏休みの行事や夏休みの予定をいれていきます。

なつぞら

鷹丘小学校
5年
牧野 悠桜

どうまい給食

どうまい給食は、夏休みの行事や夏休みの予定をいれていきます。

ばあばと草木ぞめ

ばあばと草木ぞめは、夏休みの行事や夏休みの予定をいれていきます。

なでしこ

なでしこは、夏休みの行事や夏休みの予定をいれていきます。

書道

書道は、夏休みの行事や夏休みの予定をいれていきます。

あとがき

あとがきは、夏休みの行事や夏休みの予定をいれていきます。

壁新聞の部

なつやすみ

豊小学校1年 斗野 綾人

れいわ6年 8月28日

なつやすみ

第1号



かおりちゃん 4さい
ぼくには3才年下
のいもうとがいます
いまは幼稚園で遊ぶ
の赤いお洋服がかわ
いいでしょとおも
います。お洋服は
なつやすみの季節
には涼しいので、
お洋服は夏用の
短パンとTシャツ
を着ています。お
洋服の色は夏は
涼しい色が好き
です。お洋服は
お洋服屋さんで
買っています。
お洋服は夏用の
短パンとTシャツ
を着ています。お
洋服の色は夏は
涼しい色が好き
です。お洋服は
お洋服屋さんで
買っています。

家づくりょこう しまスペイン村と とば水ぞくかん



8月3、4日にフェ
リーにのって三重県に
いきました。入やイン
村では「オラ」も入
とスタンプからもらえ
ました。たて
ものもの
もものも
入やイン
たいとお母さんか
ていました。あとから
しらべると
スペインは
日本からは
赤い黄色と
の国でした
「オラ」は
スペイン語で「や
あ」という意味
です。たて
ものものは
スペイン語で「
あ」という意味
です。たて
ものものは
スペイン語で「
あ」という意味
です。

なつやすみ

豊小学校
1年
斗野綾人

しよぼうぎ はじめたよ

7月にしよ
ぼうぎをは
じめました
お父さん
お母さん
お兄さん
お姉さん
みんな
喜んで
くれました
お父さん
お母さん
お兄さん
お姉さん
みんな
喜んで
くれました

ラジオ体そう

7月22日
ラジオ体
そうに
参加し
ました
お父さん
お母さん
お兄さん
お姉さん
みんな
喜んで
くれました

あとがき

はじめてしんぶん
に手紙を書きました
お父さんお母さん
お兄さんお姉さん
みんな読んで
くれました
お父さんお母さん
お兄さんお姉さん
みんな読んで
くれました

ポケモン フレンド ハマリン

7月22日に
だてポケモン
フレンドであそ
びました。2人
であそんでい
るとめず
らしいトレジ
グバトルが
あいてポケ
モンが
つよつよで
つよつよで
つよつよで

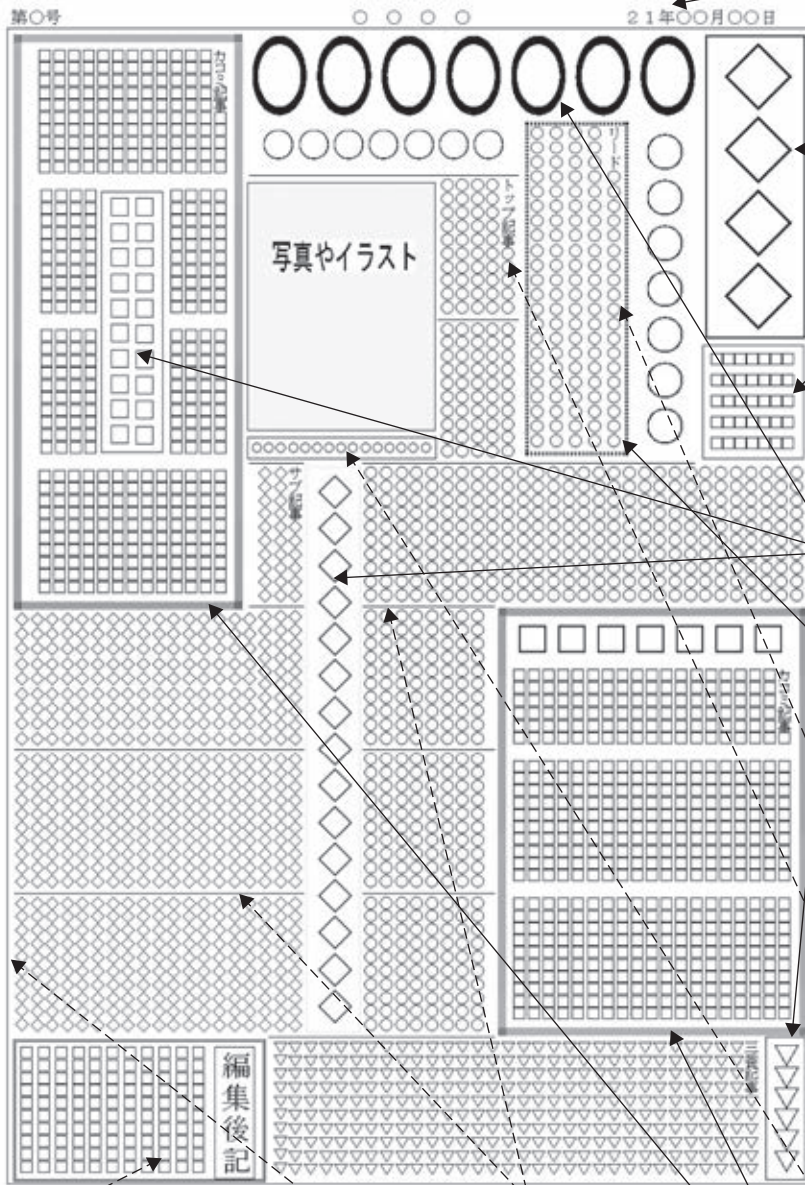
壁新聞作成のポイント



家族で楽しく新聞をつくりましょう

新聞づくりは時間がかかりますが、作品ができあがったときのうれしさは格別です。家庭で話し合いながら作れば、家族の絆も今以上に太く強くなるはず。難しいところもありますが、とにかく楽しみながら作りましょう。

複数の記事を一枚の紙面に掲載しています。一つ一つの記事が区別できるように、紙面をレイアウト(記事や写真の割付)します。レイアウトの基本はX型、紙面右上から左下へと流れていきます。見本を参考にして、たくさんの人が読むことを意識して、読みやすくきれいな作品を仕上げましょう。



ヘッダー：新聞名(題字)や発行日、号数を書く。

題字：自分の思いがこもった新聞名を決める。「さわやか」「きずな」などと、「〇〇新聞」と「新聞」をつけないのが一般的。

題字下：発行年月日、学校名、学年・組、発行者名などを小さめの字で記入する。

見出し：記事の内容を表す短い言葉、記事を書いた後の方がつけやすい。客観的な見出しは面白みに欠け、主観的な見出しは記事の内容が分かりにくいので、上手く組み合わせるとよい。大きな見出しが、かぎ見出し。太目の字やレタリング、色づかいで目立たせるとよい。

リード：記事の内容を短い文で要約したもの。「新聞は、見出しとリードと本文で三度読ませる」。

トップ記事：体験学習のねらいにせまる記事、自分の思いを伝える記事を書く。トップ記事は、記事のスペースが広く、大きな見出し、リードがついている。

キャプション：写真などに短くコメントを加えると分かりやすい。

カコミ記事：面白い出来事や失敗談など、軽めの記事を載せる。カコミの線は飾り罫線で一文字分使う。飛び越し、飛び降り、文字無し、何でもあり。

編集後記：体験学習の感想、新聞を作った感想を記す。継続して発行する新聞には、編集後記を掲載しないのが一般的。書いておこう。

枠罫線：紙面の外側に線を引くと紙面がひきしまる。段罫線や枠罫線は、清書が終わり仕上げの最後に引くとよい。

段罫線：段と段の間に細い横の罫線を引くと読みやすくなる。カコミ記事の中は、段罫線を引かないのが一般的。記事を区別する線ではない。間違えやすいので注意して引く。

第42回 明るい家庭づくり推進大会

令和7年2月2日（日）午後1時30分

豊橋市 公会堂

<主 催>

豊橋市 豊橋市教育委員会

豊橋市小中学校PTA連絡協議会 豊橋南ロータリークラブ

プログラム

- ◆ 開 会
- ◆ 主 催 者 あ い さ つ
- ◆ 来 賓 祝 辞
- ◆ 豊橋市長賞作品発表
- ◆ 表 彰 式
 - ・豊橋市長賞
 - ・豊橋市議会議長賞
 - ・豊橋市教育委員会賞
 - ・豊橋市小中学校PTA連絡協議会長賞
 - ・豊橋南ロータリークラブ会長賞
 - ・豊橋南ロータリークラブ賞
- ◆ 閉 会



壁新聞の優秀作品と 入選作品を豊橋市公会堂で展示します！

壁新聞の優秀作品は、以下の日程・場所でもご覧になれます。
令和7年2月3日(月)～2月10日(月) こども未来館ここにこ 1階ギャラリーストリート

毎月第3日曜日は「家庭の日」

話さなくてもわかり合える関係を築くのは、簡単そうで難しいものです。
夫婦間、親子間で何でも話せる家庭づくりには、あいさつや日々の会話を
増やしていくことが大切です。

さあ！はじめましょう。あなたの家の「家庭の日」。

毎月第3日曜日は『家庭の日』

**令和6年度
明るい家庭づくり優秀作品集**

発行 令和7年2月2日
編集 豊橋市教育委員会生涯学習課
(☎51-2846)